

# ASUKU ASK



08

2025

No.439



## 第37回通常総代会を開催しました



▲89人の総代が実参加し、活発な意見交換がありました

来賓を代表して近畿親生会のお二人に挨拶を頂きました。



▲王隠堂農園 代表取締役  
おういんどう まさや  
王隠堂 正悟哉氏  
梅の不作に立ち向かい、国産食料自給へ熱い想いを語る!200トン増産計画も発表!



▲コーミ株式会社 代表取締役  
かわすみりょうた  
川澄 亮太氏  
加工用トマト危機に挑む!自社栽培と新工場建設で、L'sケチャップを未来へつなぐ!

### 2025年度がスタートしました

6月11日、「生活クラブ愛知」ココロを1つにどんな夢に向かっていきたいのかを決める「総代会」を終え、2025年度が本格的にスタートしました。事前の総代会議案書読み合わせ、そして総代会当日の意見交換を経て合意は十分に深まったのではないのでしょうか。

2023年度は、総代会にて長期計画の中で示した「参加型・課題解決型組織運営」を目指し、その第一歩として2024年度は総代会での決定に従い各所で「参加型・

課題解決型組織運営」をテーマにリーダー研修や意見交換を実施しました。そして、2025年度は、いよいよ組織再編に向け具体的なカタチづくりのためのワークショップを実施していきます。

誰かが決める「組織」ではなく、参加する意志ある人で一緒に作り上げていきます。

### みんなでパクパクACTION

総代会の最後の「みんなでパクパクACTION宣言」これは、分かって食べる人を増やす。予約して食べる人を増やす。食べる仲間を増やす。

そのための行動=ACTIONを一致団結しておこないますという宣言です。

### 「美味しい」で始まる仲間づくり

食べる仲間を増やすには、何より、「美味しい」を体験してもらうこと、生産者と直接会って話を聞いて、消費材に込められたストーリー(想い)を知ってもらうことではないでしょうか。

そんな企画をいっぱい準備しています。ぜひ、お友だちと一緒に参加してください!

(理事長 中野 京子)

### contents

P1 第37回通常総代会

P4 新役員紹介

P2 2025年度基本方針  
「愛知版ローカルSDGs」の構築

P5 エコエコ共済で広がるたすけあい

P3 総代会おもな質疑応答

P6 予約して牛乳を飲もう



この機関紙は、責任ある森林管理をしている林業者を応援し、世界の森林保全貢献につながるFSC® 認証紙を使用しています。

## 「愛知版ローカルSDGs」の構築



▲山田 専務理事

**2025年度は、第10次長期計画(5か年計画)の3年目です。2030年度までに達成する「愛知2030目標」に対する具体的活動を進めます。**

生活クラブの最大の魅力は、地域の組合員でつくる自治組織です。組合員は9つのエリアのどこか1つに必ず属し、身近な地域課題や個々の多様な課題を「自分事」として捉え、話し合いを通じて解決策を導き出すことを実践しています。

## 基本方針①

## 「愛知版ローカルSDGs」の取り組みを具体的に展開します

生活クラブの強みである「消費材」の価値を地域社会に広めるため、消費材を中心にしたさまざまな活動「みんなでパクパクACTION」を1年を通じて展開していきます。

## 1) 拡大

- ① 組合員一人ひとりの生活クラブのここが好きを引き出し、おおぜいの力で組合員数を増やします。
- ② 新たな拡大施策やツールを活用しながら、新規加入者の利用定着と継続的な参加を促進します。
- ③ 刈谷市へ配送エリアを拡大し、200人の拡大を目指します。

## 2) 共同購入

- ① 「牛乳」と「畜肉(特に豚肉)」の利用促進を進めます。おおぜいの組合員に生活クラブのこだわりと市販品との違いを伝え、利用組合員を増やします。
- ② 社会を変えたいという同じ思いの生産者と一緒に活動し、関係強化

を図ります。

- ③ 新しいスタイルの展示会を年2回開催します。新しい組合員の参加増を目指します。
- ④ 食べ慣れた消費材を利用し続けられるよう、高齢組合員に向けた施策を調査します

## 3) まちづくり

- ① エッコロ共済加入者の暮らしを保障しつつ、地域での助け合いにも活用される共済を推進し、豊かな地域社会づくりを進めます。
- ② センターを活用した居場所づくりを進めます。ひだまり館の認知度を高めていきます。生活クラブ館の具体化を進めます。
- ③ 生活クラブの地域社会政策における重要な要素であるW.Co運動をさらに進めます。
- ④ 生産者どうしでつくる親生会や他の協同組合、NPO団体、行政等と連携し、まちづくりを進めます。
- ⑤ 防災・減災について協同組合間連携を強めセーフティーネットづくりに取り組みます。
- ⑥ 生活クラブらしい終活・葬祭・おひとりさまサポートの在り方について、調査研究をすすめます。

## 4) 環境

- ① 生活クラブでんきへの切替を促進しエネルギー自治を広げます。
- ② グリーンシステムへの参加を拡げます。
- ③ セっけんの利用を通して、水環境など環境問題を意識した生活を選択する人を増やしていきます。
- ④ 他団体と連携しながら、遺伝子組み換え作物、ゲノム編集食品への反対運動を展開していきます。

## 基本方針②

## 組織運営の在り方を考える年と位置付け、組合員討議をすすめます

- ・協同の力を最大限発揮するために、生活クラブは自治組織をつくり、運動を重ねることで豊かな地域社会づくりをめざしてきました。これは生活クラブ独自の取り組みであり、組合員活動最大の特徴です。自治組織による組合員活動を通じて、生活をテーマとしたさまざまな課題の解決を目指しています。
- ・組合員は問題を他者に委ねず、自主性に基いて行動することが何より大切であり、ゆるぎないものです。当事者性を持って活動し、共感する仲間を増やすことで、協同の力を発揮し、社会の当たり前の実現へと導きます。
- ・当事者性を持つおおぜいの組合員の存在が、自治力の高い組織を形成し、地域を豊かにする。そこに気づいて活動する組合員を、私たちは継続的に生み出す必要があります。
- ・2026年度より新たな組織体制へと再編します。自治の単位を現行の9つのエリアから、生活圏が同じ地域「尾張名古屋」「西三河」「東三河」の3つのブロックの括りにします。
- ・組織再編によって、組合員の主体的な参加を促し、活動しやすい組織運営の在り方を追求していきます。より活発な組合員活動が展開されるような体制を構築していきます。
- ・今年度はブロック体制に向けた準備の年です。ワークショップを重ねながら進めていきます。

おもな

# 総代会 質疑応答

## 総代会とは？

組合員の代表(総代)が年に一度集まり、年間活動の方針や予算を討議して決定する、生協の最高議決機関です。

### 1号議案(2024年度事業報告)

**Q.** 協同組合型地域社会の項目にある様々な活動やイベントの募り方はどのようにしているのか？

**A.** 地域連携の活動は団体としての参加となるので、理事会メンバーを中心に参加している。1/26に名古屋センターで実施した炊き出し訓練の「あったかごはん食堂」は1人1部でチラシを配布した。

**Q.** エッコロファンド、2団体に助成された詳細と、補助金の決定方法や繰越金について聞きたい。

**Q.** この2団体に決まった選考基準は？

**A.** エッコロファンドの助成団体・内容は議案書巻末資料に記載されている。選考基準はエリアからの推薦を受けて応募する形を取っており、審査検討会はあくまでどのような団体が確認する場としている。また繰越金は別口座で管理しており、単年度基金ではなく積み立てていく。

### 2号議案(2024年度決算報告)

**Q.** 組合員活動費が赤字の原因になっているのでは？組合員活動は鈍くなっている中で、単協主催イベントは派手になっている印象を受け、必要以上にお金をかけていると感じる。理事はどう考えていますか？

**A.** 組合員活動費の内訳を説明、詳細な項目の予算と実績を示すことはできる。これが多いのか少ないのか、政策として派手なのか？

検証していく必要がある。どのような事にお金を使うか、議論が活発になることが良い総代会だと思う。

### 3号議案(2024年度活動方針)

**Q.** 「あったかごはん食堂」開催後の活動や今後の予定について知りたい。

**A.** 「あったかごはん食堂」の振り返りの会を実施した。何かあったときに県内生協で連携するという実態を作れた。今年度はあいち生協が開催することが決定している。

**Q.** 「エンディングサポート」について10万円の予算は高く感じる。どのような内容なのか？

**A.** ワーカーズ・コレクティブ化を視野に入れ豊田方面で学習会やワークショップをすすめている。主体形成を進めるために多めの予算を取っている。調査研究によっては県外に赴く可能性もある。

**Q.** 尾張旭生活館は11,700人で構想を開始となっているが、今年度の設備投資計画で計上することはどうなのか？

**Q.** 拡大計画が達成しなかった場合にも建設に向けて予算を執行するのか？

**A.** 計上については11,700人に備えてのものである。現実的には必ずしも計上しなくてよいものだったが、計画を示すためにあえて計上した。

**Q.** ブロック化に向けて、不安がある。個配の人がどうつながっていくかわからない。

**A.** ブロック化に向けては時間をかけ

て、エリアと説明会などで組織再編について話をしてきた。不安に思うなど、意見をあげて欲しい。

### <意見>

・ブロック化については検討がつかないが、ワークショップに参加していい形ができればと思っている。

・ブロック化には確かに不安がある。組合員活動が鈍くなってきている中で、小さなつながりを大切にしていきたい。これからのワークショップで意見を出して作っていくものだと思っている。おかげさまで個配の中で興味ある人が集まって、ワーカーズを立ち上げた。変わっていくことは必要だと思います。

・現状は若い人が出て来ることが難しい。エリアの枠に縛られない活動をしていきたい。ブロック体制で良い伝統は残しつつ、風通しの良い組織になることを望みます。

・名古屋北エリアは経営委員会が無い状態。意見を集約する場がないと、一人ひとりが組合員活動をしようとしても、その後につながらず、もどかしさを感じている。ブロック化しても、それぞれの活動がきちんとできるような状況を望み、活動を通じて輪が広がることを期待しています。



▲つながりを大切にしながら、これからの組合員活動を考えていきたい

## 新役員紹介



理事長 中野 京子



副理事長 市野 正枝



副理事長 土肥 美穂



副理事長 小林 美穂



専務理事 山田 晃久



理事 堀 美奈子



理事 本田 ゆみ



理事 谷口 亜紀



理事 小坂 礼子



常勤理事 並川 純



員外理事 藤井 恵里



員外理事 朝倉 美江



監事 青山 木綿子



監事 伊藤 香



常勤理事 福田 大輔

### 就任あいさつ

小坂 礼子 組合員みんなが楽しく活動できるよう尽力していきます。皆様のご協力を願っております。

朝倉 美江 平和と生活が危機に瀕している今、人・自然・地域との協同をめざす生協運動をご一緒したいと思っています。

伊藤 香 理事から監事に席替えです。エリアからブロックへの移行期を、期待をもって注意深く見守りたいと思います。

## \*\*\*\*\* おつかれさまでした \*\*\*\*\*



都築 康実

熊本 ゆう子

門脇 恵美

有働 恵子

### 退任あいさつ

熊本 ゆう子 2年間ありがとうございました。組合員のみなさんとの交流が大きな力となりました。これからも人と人の繋がりを大切にしていきます。

有働 恵子 理事だからこそできた中身の濃お〜い6年でした。今後はマイペースで活動できたらいいな。ありがとうございました。

門脇 恵美 産地は遠い？音羽の田んぼと加工用トマトの畑に行ってみりん。ワクワクが止まらんに。大切な産地を宜しく頼みます。

都築 康実 役員になってはじめて知ったことが多くて、得がたい経験を積み重ねた6年間でした。

# エコロ共済で広がるたすけあい

## エコロ共済とは

エコロ共済は、生活クラブ独自のたすけあいの共済制度、組合員どうしの困ったときの「たすけあい」のしくみです。エコロ共済に加入するということは、毎月100円の掛金で、生活クラブの組合員相互の「たすけあいのしくみづくり」「ゆたかな地域づくり」に参加するということです。組合員活動時の託児や車の乗り合わせ、共同購入時の消費材の預かりや配達、日常生活時のちょっと困った時のお手伝いやりフレッシュしたい時の家族のお世話、健康診断を受けた時の補助などに使うことができます。



エコロ共済ガイドブック▶



## 「つながる」しくみ

### 《エコロクラブ》

共通の趣味や関心事での自主的な集まり。エコロ共済加入組合員が4人以上で結成。年5,000円の活動補助あり。

### 《登録班》

組合員が4人以上で結成。単協やエリアから届く諮問に対しモニター班会を開催する際のお茶菓子代上限1,000円の補助あり。

### 《防災コミュニティ》

防災をキーワードに一定の範囲に居住している組合員で形成。上限2,000円の活動補助あり。(現在、実験取組中)

## 「つなげる」しくみ

### 《エコロ講座》

エコロ共済加入者なら誰もが無料で参加できるつながりづくりの場。(エコロ共済未加入者、未組合員は500円)健康、美容、生活、文化、教養をテーマに多数の講座があり、個人でも開催可能。講座の講師料はエコロ共済から拠出しています。今年度は新たに「色彩心理」「太極拳」「スキンケア」が加わりました。



◀エコロ講座ガイドブック



## ケアを頼める人がいない時は・・・

ケア者をコーディネートする機能「エンジェルズ」があります。

本部 福祉たすけあい推進課

Tel: 052-899-0770

## 「たすけあい」を地域に広げる

掛金のうち20円を、生活クラブ地域福祉政策推進基金エコロファンド(通称: エコロファンドあいち)として積み立て、生活クラブ愛知の地域福祉政策「まちづくり・居場所づくり」に基づいて行う活動や事業に助成することで、地域に必要なものを生み出します。

## 花縁便

消費材一つひとつにはストーリーがある。知るとより食べ続けていきたいと思う▼先日、冷凍しじみの生産者、三重県漁連の赤須賀漁協を訪問した▼貝類の資源管理を強く推し進めるため、出漁週3日制や漁獲制限を設けていたり、次の世代に残すための取り組みとして、桑名市の小学校の給食にしじみを提供したり、社会見学の受け入れ、森・川・海はひとつをテーマに干潟観察や植樹などを行っている▼地域の「絆」こそが、互いが共生できる地域づくりの原動力になる、人とのつながりを大切にしているという言葉が印象に残った▼皆さんも消費材のストーリーを聞きに生産者交流会などに参加してみてください。

(理事 本田ゆみ)

## 6月事業報告

|            |           |      |
|------------|-----------|------|
| 組合員数       | 加入        | 脱退   |
| 11,109人    | 66人       | -59人 |
| 出資金        | 1人当り出資金   |      |
| 1362172 千円 | 122,619 円 |      |
| 供給高        | 1人当り供給高   |      |
| 218,511 千円 | 20,773 円  |      |

▼共済加入件数

|         |         |         |
|---------|---------|---------|
| ハグくみ    | CO・OP共済 | エコロ共済   |
| 1,323 件 | 4,734 件 | 8,579 件 |

## 生活クラブでんき契約者

累計445件(5月)  
再エネ100%プラン 25件  
時間帯別プラン 14件



生活クラブ  
でんき

## 今月のリユース率

ビン 回収率(5月)  
900mlびん…120.9%  
500mlびん…116.7%  
Rびん全体 …115.0%

グリーン  
システム  
30th  
Reuse & Recycle



# 予約して牛乳を飲もう

## 美味しさの理由

提携酪農家と自前の牛乳工場で作られる私たちの牛乳。72度15秒間殺菌のパスチャライズド製法で作られているので、熱による成分の変性が少なく、生乳本来のおいしさを生かした牛乳です。

また牛を育てる飼料は遺伝子組み換えの混入を防ぐため分別した飼料や、収穫後の農薬は不使用の飼料を選択しています。酪農家によってはデントコーンやライ麦などの飼料を自家栽培し、飼料の自給率を上げる取り組みをしています。

大切に育てられた牛から搾られた私たちの牛乳をみんなで利用していきましょう。

## 混ぜて美味しい牛乳のお供

「牛乳で飲むエスプレッソコーヒー」は簡単に本格的なカフェオレが作れます。「スイートコーン缶クリーム状」と牛乳だけで作るコーンスープは温めても、冷製でも美味しいです。

「生チョコスプレッド」で作るチョコレートドリンクは我が家の子どもたちに大人気です。みなさんもお気に入りの牛乳のお供を見つけてください。



▲注ぎやすい牛乳キャップ  
2個入り(税込200円)

6月から「注ぎやすい牛乳キャップ」の取り組みが始まりました。注ぐ時に液だれしなくてとても便利です。こちらも是非お試しください。

（消費委員 樹神 結花）

### ● エッコロファンドあいち24年度助成報告会

①8/29(金)尾張旭センター

報告団体：つばさエリア・居場所カフェリユネット

②8/29(金)ひだまり館

報告団体：おかざきエリア・W. Coつむぎのおか



▲事前参加  
申し込み

生活クラブ愛知

公式LINEはじめました!

友だち登録をお願いします▶▶



### ● かりやパクパクまつり

8/25(月)・26(火)

11:00~15:00

会場：みなくる広場(刈谷市)

複数の生産者と一緒開催!

試食・販売・楽しい企画など盛りだくさん!

刈谷市で個人宅配をスタートします!!

(お友だちをぜひご紹介ください♪)



▲JR刈谷駅前の  
「みなくる」



## 組織再編で描く our story

### ◆「9」を「3」にします

現在、約1,000人単位、9つのエリアに分かれているものを、大きく3つの括りにします。



その理由は、委員や代表となる委員長がいないエリアが多くなってきているからです。また、委員がいても代わりあえないでいます。

### ◆なくなると、なくなります

それでは、エリアの委員がいなくなるとどうなるのかというと、試食会や生産者交流会やイベントができなくなります。単協全体で実施しているものもありますが、より地域に根差した活動ができません。

そして、「こんなこと、やりたいね」の声を伝えたり話し合ったりする場がなくなるということです。

つまり、9エリア全てで活動を牽引するリーダーを誕生させることは難しくても、3ブロックであれば可能では、と考えています。

### ◆「3」ですが「31」です

3つの大きな括りですが、その中には行政区を基本単位とした「まち」を置きます。配達範囲の15市町に名古屋市16区なので「31まち」になります。その他、もっと小さな集まりのコミュニティも置きます。

「私のやりたい!は、どうしたら実現できるのかな?」と思ったら、各センターで実施を予定しているワークショップに参加してみてください。

きっと、あなたの活躍できるステージ(場)があるはず!

(理事長 中野 京子)